

2021年2月27日-28日 天狗岳

メンバー：岩田

将棋頭山冬山テント泊山行で雪上テント泊の方法を教えてくださいました。その記憶が新しいうちに冬山テント泊を自分のものにするため、冬山ソロテント泊を実施しました。

前回より低い気温を体験したいと八ヶ岳の黒百合ヒュッテでのテント泊を選択しましたが、結果、確認できた最低気温マイナス16°Cでも問題なく過ごすことができました。

AM6:50 登山開始（渋の湯）

渋の湯の駐車場は時間厳守ということで、6:30を目指して駐車場へ。特に問題なく駐車できました。

登山口直後から、十分に雪があり、テント泊装備で重量があるため、念のため、アイゼンを装着して登山を開始しました。唐沢鉱泉分岐までは初めてのルートでしたが、踏み跡がしっかりとあり、問題なく歩けました。

AM9:10 黒百合ヒュッテ着

テント場一番乗り。この時点ではある程度の強風。防風壁のしっかりしたサイトを選択し、テントを設営。床面を平坦にし、風でテントが飛ばされないようにピッケルでテントを固定しつつ、新たに作成した竹ペグを用いて、テントを固定しました。

テント設営後、風が収まるのを待ちましたが、あまり変化が無いようなので、天狗岳へ向け出発。

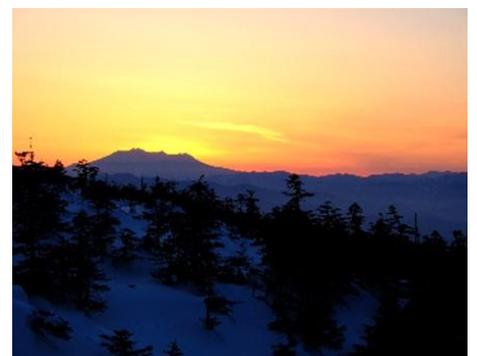


AM10:50 黒百合ヒュッテ発

宿泊装備をテントに残し、ザックを軽量化し、ピッケル装備で天狗岳へ向け出発。森林限界以上では、やや強い風が吹いていましたが、気温がある程度高く、問題なく東天狗岳山頂まで登頂できました。

AM11:50 東天狗岳着

鞍部から西天狗岳山頂までの斜面は強風が吹き抜けており、初日の登頂は断念。黒百合ヒュッテへ戻りました。



PM0:40 黒百合ヒュッテ着

テント場では、雪からの水作りを実施。ゴミ(木くず)が多く、コーヒーのフィルタで濾した。

温めた水は、容器に入れ、夜湯たんぽとして使用。火器使用時は換気のため、入り口とベンチレーターをこまめに開閉しました。

日没時と薄明後には、夕景と星を眺めるため、小高い丘まで出かけました。山での夕景はとっても素晴らしい！



夜間の確認できた最低気温はマイナス 16℃（ヒュッテ前の温度計）

シュラフ内での体感は、やや寒く、ぐっすり寝ることはできませんでしたが、必要十分な休息は取れました。

AM4:00 起床 AM5:20 発

暗い時間からの登山開始ですが、前日にルートを確認してあるため、問題なく進む。途中、西に満月が傾き、遠く諏訪湖の水面に反射する美しい景色を見ることができました。

AM6:20 東天狗岳山頂着

狙い通りちょうど日の出の時刻で、雲もなく、最高の日の出を堪能できました。

AM6:50 西天狗岳山頂着

風もなく余裕をもって西天狗岳の山頂を踏む。

AM7:50 黒百合ヒュッテ着

朝日を浴びて、テント内は暖か。少し休憩後、テントを撤収し全装備をもって、中山、高見石へ向け出発。



AM9:00 出発

荷物が重い。気温が高いこともあり、中山までの道で非常に疲れしました。荷物を工夫するか、体力をつけるか・・・何とかせねば。

AM10:10 高見石小屋着

AM11:30 渋の湯着

